

## 令和元年度「大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団」実施報告

令和元年 9 月 28 日に環境省近畿地方環境事務所と林野庁三重森林管理署共催の「大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団」による植生の保護作業を行うボランティアによる体験イベントを開催しました。

大台ヶ原、大杉谷は、昭和 30 年代はうっそうとした森林が生育していましたが、現在はササ原や倒木といった風景が広がり、これを再生するための様々な取組を広く一般の方に知っていただき、体験していただくことを目的として開催しています。

当日は、あいにく霧が濃い中での開催となりましたが、幸いにも雨に降られることなく、24 名のボランティアの方々に参加いただき、ニホンジカによる樹木の樹皮剥ぎ被害を防ぐネット巻きや防鹿柵内のトウヒ等の稚樹周辺のササ刈りを体験していただきました。

はじめに、大台ヶ原ビジターセンターにて開会式、集合写真撮影を行った後、3,4 人一組の 8 班に分かれ、正木ヶ原へと出発しました。移動中には、大台ヶ原の自然の写真を撮影していたり、森林について質問する姿を見て、参加の皆様が森林や自然について関心をもってイベントに参加していただいていることを感じました。



集合写真（ビジターセンター）

正木ヶ原に到着し昼食後、近畿地方環境事務所と三重森林管理署が取り組んできた自然再生の取組について紹介し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後、ネット巻き班とササ刈り班にわかれ作業場所まで移動し、スタッフによる作業の手本、注意点の説明を行った後、実際に作業に移っていただきました。

イベントには、複数回参加いただいているベテランの方から初参加の方までおられ、ベテランの方は最初から手際よく次々に作業をこなしていましたが、初参加の方は、不慣れな手つきで作業を行いながら、次第にコツをつかんでいきテキパキと作業をこなしていました。



ササ刈り



ネット巻き

1 時間程度の作業を終え正木峠の展望テラスへ移動しました。本来であれば、展望テラスからの眺めは大変素晴らしいのですが、あいにくの霧で参加いただいた皆様には景色を楽しんでいただくことはできませんでした。

テラスで集合写真を撮影し一休みした後、ビジターセンターへ移動し閉会式を行いました。参加の皆様のご協力により、無事、イベントを終了することができました。



集合写真（正木峠テラス）

今回のイベントに参加し、「森林を歩くのは初めてだったけれどとても新鮮だった」、「初めて使う道具で慣れるまで難しかったが楽しく作業することができた」と感想をいただきました。

今後もイベントへの参加経験の有無に関わらず、森林や自然に興味を持つ多くの方にご参加いただけたら幸いに思います。



晴天時の展望テラスからの眺望